



支援プログラムの作成及び公表について

・児童発達支援事業所ぶりんぐ音更 児童発達支援・放課後等デイサービス

上記事業所に関し、令和6年4月1日より、以下の5領域について個別支援計画を作成し、一人ひとりに合った児童発達支援プログラムを作成しています。

児童発達支援・放課後等デイサービスでは概ね同じ内容で活動しているため、重複する部分は割愛させていただきます。



児童発達支援事業所 ぶりんぐ音更



8:30~17:30

日曜・月曜・祝日休み



送迎無し

理念

- それぞれのお子様の特性や能力に対応した課題を設定し、お子様の持つ能力が最大限発揮できる環境を整え、一貫した対応でサポートします。
- お子様が社会の一員として自立し、生きる喜びを感じ、充実感を持って生活できる事を目標に、関係機関との情報交換を密に行いながら、お子様の成長のため協力し合って支援します。
- 保護者の子育てにおける悩み、困り事への相談に応じ、応用行動分析の視点から解決策を共に考えます。
ゆくゆくは保護者が迷いなく適切に対応できる事を目指します。

本人支援

健康・生活

- 注意集中時間の向上（興味に対応した課題設定など）
- 基本的な生活スキルの獲得（身支度、排せつの自立など）
- 療育環境の構造化（スケジュール、絵カードの活用により見通しを持たせる）

運動・感覚

- 姿勢の保持（課題中の声掛けや姿勢保持具の使用など）
- 運動・動作の基本的技能の向上（鉛筆、ハサミ、スプーン等の操作の練習など）
- 感覚の特性への対応（パーテーションを用いた視覚刺激の軽減、静穏な環境の確保など）

認知・行動

- 状況判断能力の向上（SST 課題など）
- 空間認知能力の向上（ブロックの組立、間違い探しなど）
- 数量、色等の習得（数の数えやパズル、マッチングなど）

言語・コミュニケーション

- 言語の形成と活用（絵カードやジェスチャーでの要求表現の獲得など）
- 言語表現・理解力の向上（振り返り課題、イラスト説明など）
- 読み書き能力の向上（絵と文字のマッチングなど）
- コミュニケーションツールの活用（絵カードによる要求など）

人間関係・社会性

- 自己理解や感情コントロール能力の向上（感情の視覚化、言葉で表現する練習など）
- 小集団での活動（グループ活動で他児と関わる、スタッフや他児とのやり取りの練習など） ※放課後等デイサービスのみ

移行支援

支援方針

- ・本人への関わりや保護者との面談から発達段階や支援ニーズを適切にアセスメントし、必要な課題を随時設定します。
- ・TEACCH・ABA の理論に基づいた関わり方や環境の調整によって不適応行動や発達課題へ対応します。
- ・移行支援・地域支援（インクルージョン）の視点を持ち、必要に応じて関係機関との情報共有・連携を行いながら支援します。
- ・毎回の本人の反応や達成状況などを踏まえ、PDCA サイクルで計画の見直し・更新をします。

職員の質の向上に資する取組

- ・学習会を実施し、職員の知識向上を図ります。また、職員間での情報共有や対応について話し合う機会を設けます。
- ・外部研修への参加を推奨します。

関係機関との連携

- ・主に保育園や小学校等と連携し、就学相談・在籍クラスの移籍について必要な情報提供・情報収集を行います。

家族支援

保護者面談

- ・児発管との面談を通して、お子様の発達状況や特性の理解・困りごとへの対応法などの相談援助を行います。一部の課題や取り組みは必要に応じて家庭でも実践していただきます。

地域支援

- ・必要に応じて保育園・幼稚園・小学校・相談支援事業所等の関係機関と連絡を取り合い、情報共有や支援の方向性の調整を行います。
- ・関係機関との情報共有を目的としたケア会議に参加します。

主な行事等

- ・事業所において実施している行事はありませんが、通常の療育において季節に合わせた活動（行事に合わせた制作など）を取り入れます。

療育時間

| | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|------------|---|---|---|
| 9:00~10:30 | | | | | |
| 10:30~12:00 | | 児童発達支援 | | | |
| 13:30~15:00 | | | | | |
| 15:30~17:00 | | 放課後等デイサービス | | | |

作成日：2024年9月18日